

# 古河市

KOGA City

■概要／人口：142,618人

年間観光入込客数：2,259,600人

■由来／万葉集で歌われた「麻久良我の許我の渡りのから楫の音高しもな寝なへ児ゆゑに」の「許我」(こが)に由来。

■市の花／ハナモモ

木／ケヤキ

魚／フナ

鳥／カワセミ

県の最西端に位置し、栃木県、埼玉県と境を接し、「関東のドマンナカ」を自称する古河市。渡良瀬川、利根川が流れ、水との関わりの深い土地柄でもあります。市の北西に広がる渡良瀬遊水地は自然の宝庫で、ヨシの茂みや湿地が多く、野鳥やトンボ、チョウなどの格好の生息地となっています。そして桃の花などが咲き誇る古河公方公園(古河総合公園)は、自然景観を生かした公園として日本で初めてユネスコの「メリナ・メルクーリ国際賞」を受賞しました。また、古河城出城跡にある歴史博物館や古河文学館、街角美術館などの施設も点在し、散策に訪れる観光客も多く見られます。

## 鷹見泉石記念館

鷹見泉石が過ごした場所

藩主土井利位に仕えた古河藩士、そして蘭学者でもある鷹見泉石(たかみせんせき)の晩年の住まいです。古河城の余材を使って建てたと伝えられている建物を改修して、平成2年に「鷹見泉石記念館」として開館されました。江戸時代に作られたものとして唯一のヨーロッパ国図「新説和蘭国全図」など、数々の研究に没頭した住居です。

スポット



## ネーブルパーク

自然とのふれあい空間

「ネーブル」とは、「へそ」や「中心」という意味。公園が関東平野のほぼ中央に位置することから名付けられたそうです。自然と親しむふれあい型のテーマパークとして、園内には、アスレチック広場、ポニー牧場、地下迷路の遊びが楽しめます。また、工芸館では、陶芸用の絵付けをしたり、粘土から成形する本格的な陶芸を体験することもできます。

スポット



## 古河歴史博物館

古河の歴史を垣間見る

古河城出城跡(諏訪曲輪)に平成2年に開館。平成4年の日本建築学会賞、平成8年の公共建築賞を受賞しています。古河藩主である土井利位が雪の結晶の研究を著した「雪華図説」をはじめ、家老鷹見泉石が収集、研究した蘭学資料などを展示しています。また、ホールにはオランダの楽器ストリートオルガンがあり、異国の音色を楽しむことができます。

スポット



## 古河公方公園(古河総合公園)

桃の名所で知られる

25haにおよぶ広大な自然の中に、四季折々に咲く、美しい花々が訪れる人を和ませてくれる公園。毎年3月下旬から4月上旬にかけて「古河桃まつり」が開催され、多くの観光客が訪れています。平成15年には、ユネスコとギリシャが主催する「文化景観の保護と管理に関するメリナ・メルクーリ国際賞」を日本で初めて受賞しました。

スポット



## 道の駅「まくらがの里こが」

スポット



直売所の野菜を使用したフードコート、地元食材を使って焼き上げたパンなどが楽しめる道の駅。道路情報や季節折々の観光情報などを提供しています。

## お休み処「坂長」

スポット



歴史的な価値を有する街の財産として、国の登録有形文化財にも指定。敷地内には歴史を学べるミニギャラリーやホール、資料室、地元の特産品やお土産が買えるお店などがあります。

## 古河文学館

スポット



直木賞作家で歴史小説家の「永井路子」をはじめとする古河ゆかりの作家の作品や、児童文学史に大きな足跡を残した絵雑誌「コードモノクニ」の原画など、数々の貴重な資料を展示。

## 篆刻美術館

スポット



平成3年に日本初の篆刻専門の美術館として開館。館内には、古河出身の生井子華の遺作をはじめ、小林斗盞、梅舒適など日本を代表する現代作家の作品を常時展示しています。

## 古河桃まつり

古河を代表するまつりの一つ。江戸時代初期に古河藩主の土井利勝が江戸で家臣の子どもたちに拾い集めさせた桃の種を古河に送り、農民に育てさせたことに由来します。古河公方公園(古河総合公園)の開園を機に、園内に花桃を植樹し、桃林を復活させました。園内には、「矢口・源平・菊桃・寿星桃・寒白」の5種類の花桃が約1,500本あり、期間中は鮮やかなピンク色で染まります。また、まつり期間中は園内では飲食の店、郷土物産品の販売、野点などもあり、さらにステージなどで様々なイベントが開催され、毎日古河桃むすめが来場者を出迎えてくれます。



## 古河花火大会

見どころは圧巻の三尺玉

打ち上げ数2万発で、関東では最大級の花火大会です。直径約90cmの大玉を打ち上げる三尺玉のほか、ワイドスターメイン、メロディー付きスターメイン等の花火は見所満載。河川敷のゴルフ場で打ち上げられるため、堤防から鑑賞することができます。また、ゴルフ場の奥にはラムサール条約に登録されている渡良瀬遊水地の雄大な自然が広がっています。

イベント



## 鮎の甘露煮

グルメ



川沿いの古河の伝統的な料理で、カルシウムなどの栄養も豊富な「鮎の甘露煮」。食文化として、古くから古河市民には親しまれてきた味で、古河ブランドにも認定されています。

## 常陸秋そば

グルメ



古河市にある「森ファーム」の常陸秋そばは、そば打ち名人の高橋邦弘氏が太鼓判を押すほど。新そばは、11月の秋そばに加え、7月の春そばと年2回の栽培・収穫が行われます。

## はなもののしずく

古河のNew Face

古河公方公園に咲くハナモモの花を、市民の皆さんの手で採取して「はなもののしずく」が誕生しました。古河で採取されたハナモモの天然の香りそのものを体験することができ、アルコールフリーのからだにもやさしいミストです。

お土産



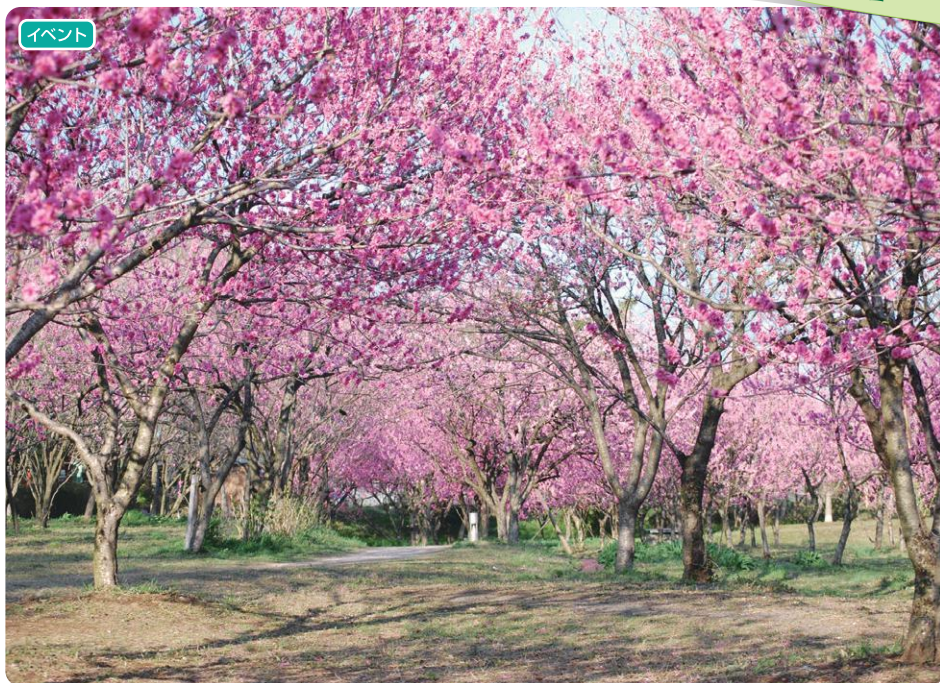
## 古河の和菓子

お土産



城下町古河には、古くから和菓子の店が多くあります。クリームをサンドした風味ある薄焼きせんべい「渡良瀬八犬伝」をはじめ、「古河ブランド」にも3店舗が登録されています。

日本一の花桃の里



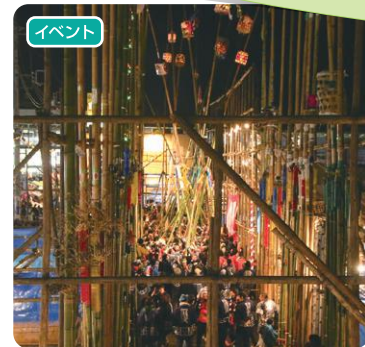
イベント

## 古河提灯竿もみまつり

関東の奇祭

市内の参加団体が20m近い竹竿の先につけた提灯を激しく揉み合いながら、相手の提灯の火を消し合う祭りで「関東の奇祭」といわれています。昔から参加者は、「今夜べえだ、今夜べえだ」という掛け声で、祭りに参加しました。「楽しみ羽目をはずしていいのも今夜だけ」という意味です。現在は、古河の冬の風物詩として開催されています。

イベント



## 古河ブランド

古河を代表する焼品

市内の産品の中で、特に優れたもの、安心・安全・高品質な商品として「古河ブランド」として認証しています。渡良瀬遊水地に飛来する白さぎの卵をイメージした、ほんのりミルク風味の「しら玉」。こだわりの手焼きで焼き上げ、古河市出身の篆刻家の生井子華の篆刻文字「許我」の焼き印を一つ一つ手押しした「許我どら焼き」など計24品目あります。

お土産



## 地酒

お土産



古河市唯一の酒蔵青木酒造が作る清酒「御慶事」。三代目当主が「最高のよろこびごと」という意味で「御慶事」と命名。古河で唯一の地酒として地元をはじめ、広く愛飲されています。



# 結城市

YUKI City

■概要／人口:**50,748人**

年間観光入込客数:**532,500人**

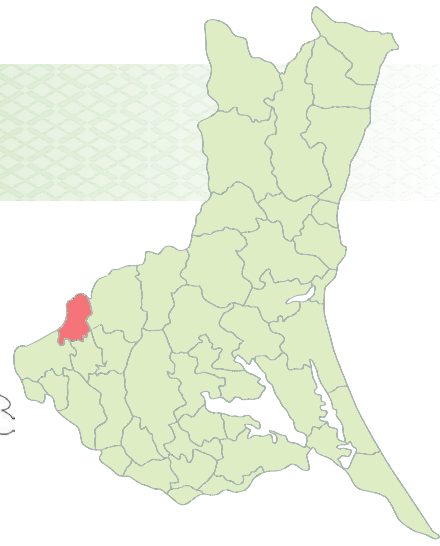
■由来／昭和29年、結城町に絹川村、上山川村、山川村、江川村の4村が編入して市制を施行。古くからこの地に、木綿(ゆう)と呼ばれる樹皮から繊維をとることができる木が多く生えていたことが地名の由来。

■市の花／ユリ  
木／桑

県の西部に位置し、ほとんどが平坦な土地で、北側、西側は栃木県です。東は鬼怒川によって、筑西市と隔てられており、独自の発展を遂げました。結城紬や桐たんすなど独特の伝統工芸品が有名。結城紬は、ユネスコ無形文化遺産に登録されました。また、平地林を開いた田畑では、白菜やレタス等農作物の生産に恵まれています。関東でも有数の歴史を誇る城下町で、神社や仏閣が集中し、見世蔵など歴史的な蔵造りの街並みは、貴重な文化遺産となっています。



まゆげった



## 観光カレンダー

|       |          |
|-------|----------|
| 2月下旬  | ゆうき物産まつり |
| 4月上旬  | 結城さくら祭り  |
| 7月中旬  | 結城夏祭り    |
| 10月下旬 | 祭りゆうき    |
| 11月中旬 | きものday結城 |

## つむぎの館

ユネスコ無形文化遺産に登録された本場結城紬の総合ミュージアム。総合案内や紬小物販売の「結の見世」、染め折り体験のできる「織場館」などが併設されている。



スポット

結城紬が身近に感じられる総合施設

## 見世蔵

結城市北部市街地には、結城市を代表する建築物「見世蔵」などの蔵造りを見ることができます。明治初期から大正期に建設された蔵造りの建物が、現在も紬問屋や老舗の商店などで利用されています。最近では蔵をイノベーションしたカフェも営業しています。



スポット

伝統的な工法の建築物

# 下妻市

SHIMOTSUMA City

■概要／人口:**41,861人**

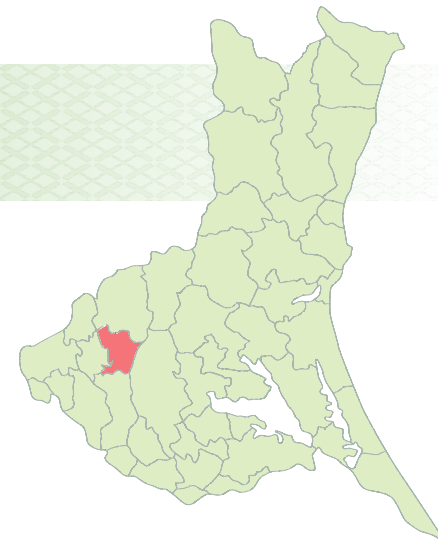
年間観光入込客数:**1,761,100人**

■由来／地名の由来には諸説ありますが、承平5年(935)の『和名抄』に歴史上はじめて「しもつま」と記されました。現在の市名「下妻」と漢字になったのは、鎌倉時代以降といわれています。

■市の花／菊  
木／松



シモンちゃん



## 観光カレンダー

|         |                      |
|---------|----------------------|
| 1月11日   | おめざめ祭・追儺祭            |
| 3月第1日曜日 | 道祖神祭                 |
| 5月下旬    | 小貝川フラワーフェスティバル       |
| 8月上旬    | 下妻まつり(千人おどり・砂沼の花火大会) |
| 9月第1土曜日 | タバカン祭                |
| 10月中旬   | しもつま砂沼フェスティバル        |

## 大宝八幡宮

大宝元年(701)、藤原時忠公が筑紫(つくし)の宇佐神宮を勧請創建したのが始まりです。天台宗の古い経文の奥書に「治承三年(1179)己亥七月二十二日の未時書を於常陸州下津間八幡宮書了兼旨」とあるため、平安末期にはすでに八幡信仰が盛行していたことが分かります。「吾妻鏡(あづまかがみ)」に下妻宮(しもつまのみや)と記され、文治5年(1189)、奥州征伐達成の際、源頼朝公が鎌倉の鶴岡八幡宮を勧請し、摂社若宮八幡宮を創建されました。



スポット

関東最古の八幡様

## さん歩の駅サン・SUNさめま

中心市街地の新たなにぎわい拠点。2Fカフェレストランでは、茨城百景「砂沼」の美しい景観を眺めながら地元食材を使用したメニューや人気のスイーツなどを楽しむことができます。また、1F観光物産販売所では、市内・県内特産品が揃い、なかでもオリジナル商品「下妻甘熟梨フィナンシェ」は、新たな地元土産品として注目の商品です。平成30年、この施設を含めた砂沼周辺地区の都市再生整備計画事業が、第13回まち交大賞の「国土交通大臣賞」に選ばれました。



スポット

砂沼の景観を活かした観光拠点

## 結城蔵美館



スポット

本蔵を本市の新たな芸術文化を創造・発信する場、袖蔵2階には、「天下三名槍」のひとつとされる「御手抄の槍」のレプリカが展示されています。2019年に結城蔵美館5周年記念事業として「結城晴朝公家督相統460年祭」を実施、【刀剣乱舞・ONLINE】とコラボレーションし、大きな話題となりました。

## きもの day 結城



イベント

結城紬だけでなく、思い通りの着物を着て北部市街地を中心に散策するイベントです。人力車乗車会他、結城紬の反物や地酒が当たる抽選会が行われます。

## ゆうき物産まつり



イベント

北部市街地を中心に開催される、本市の物産品を使った体験型のイベントです。主に味噌づくりやキムチづくり、まゆ工芸製作や手織り体験を行っています。

## 祭りゆうき



イベント

市内外から様々なジャンルの踊りの団体が集結して行われる市内最大のお祭りです。さらに多くの物産品や伝統工芸品の展示もあって、多くの来場者で賑わいます。

## 本場結城紬

昭和31年に国の重要無形文化財、平成22年にユネスコ無形文化遺産に登録されました。糸つむぎ、絹づくり、地機織りといったすべての工程が手作業で行われるため、軽くて温かいのが特徴です。着物に限らず、ショールや財布、名刺入れなど様々な製品にも使われている。



お土産

ユネスコ無形文化遺産に登録

## ゆでまんじゅう

結城の代表的な饅頭で、もちっとした食感が人気です。昔、はやり病が広まった時に当時の殿様が病払いに民衆にふるまったのが始まりと言われてます。現在、市内で販売されている店舗によって、見た目や味が違うので、食べ比べをしてみるのも◎。



お土産

結城伝統名物まんじゅう

## 鬼怒川流域交流 E ポート大会



イベント

“川を活かした新しい文化の創造”を目的に開催され、毎年熱い戦いが繰り広げられます。Eポートは、10人乗りの手漕ぎボートで、誰でも(everybody)、簡単に(easy)、楽しむこと(enjoy)、ができます。

## 下妻まつり



イベント

千人おどりでは、市内の自治区や事業所からの参加者が「下妻シッコメ」や「下妻小唄」の音楽に合わせて踊り、その後行われるしもつま砂沼の花火大会では、迫力満点のメガスターメインが花火のフィナーレを飾ります。

## 下妻甘熟梨

県内有数の梨の産地である下妻市のオリジナルブランド梨。地元若手生産者が土づくりから圃場を見直し、梨づくりを再構築。通常115日前後で収穫するところを125日前後まで樹熟させてから収穫します。梨は高血圧や便秘にも効果があることに着目。健康にも良いことをPRし、規格外の梨で関連商品として「梨のリキュール」や「下妻甘熟梨のフィナンシェ」といったお菓子にも加工販売されています。



お土産

下妻市のオリジナルブランド梨



# 常総市

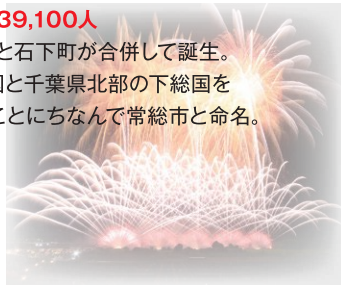
JOSO City

■概要／人口：**62,938人**

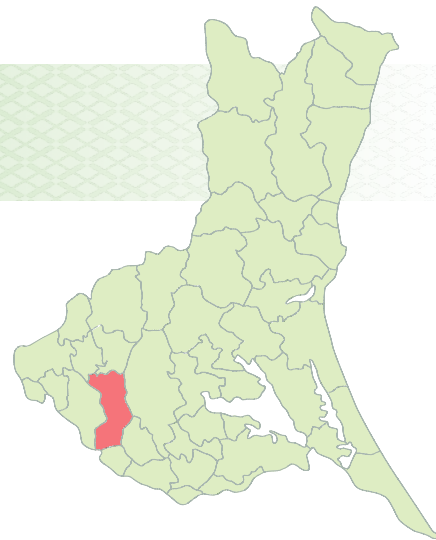
年間観光入込客数：**239,100人**

■由来／平成18年に水海道市と石下町が合併して誕生。  
茨城県のあった常陸国と千葉県北部の下総国を  
合わせて常総と呼ぶことにちなんで常総市と命名。

■市の花／サクラ  
木／カシ  
鳥／ウグイス



千姫ちゃま



茨城県の南西部、都心から55km圏内に位置しており、東はつくば市、つくばみらい市、西は坂東市、南は守谷市、北は八千代町、下妻市にそれぞれ接しています。気候は、太平洋型の気候であり、四季を通じて穏やかです。中央部を貫流する鬼怒川が市のシンボルで、鬼怒川の流域に市域が作られています。カシなどの照葉樹が自然林を形成し、屋敷林として防風、防火のために生垣として利用されている光景がみられます。

## 観光カレンダー

|       |            |
|-------|------------|
| 4月上旬  | 常総千姫まつり    |
| 8月15日 | 常総将門まつり    |
| 9月中旬  | 常総きぬ川花火大会  |
| 9月中旬  | 大塚戸のからくり綱火 |
| 11月上旬 | 常総ふるさとまつり  |

## 弘経寺

徳川家康の孫娘「千姫」の遺骨が納められた墓があり、その姿絵をはじめ遺愛の品々が多数大切に保存されています。桜と曼珠沙華（ヒガンバナ）の名所でもあり、毎年4月「常総千姫まつり」と同日に「天樹祭」が行われるほか、曼珠沙華の開花時期に合わせてコンサートが開かれており、毎月第4土曜日には写経会も開かれています。



スポット

千姫の遺愛の品々を保存

## 水海道風土博物館 坂野家住宅



スポット

主屋と表門(薬医門)が国の重要文化財に指定されています。主屋の離れとして造られた書院(月波楼)は、大正期の近代和風建築として貴重です。平成13年から水海道風土博物館として一般公開しています。

## 豊田城（地域交流センター）



スポット

1,100人収容のホール及び図書室と地域の歴史を紹介した展示室からなる施設として平成4年に開館し、平成30年にデジタルコンテンツを取り入れた展示施設としてリニューアルオープンしています。タブレット端末によるAR機械も設置し、市内の防災情報を確認することができます。

# 筑西市

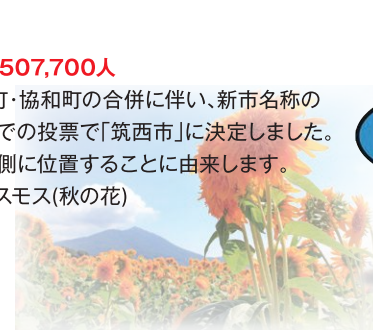
CHIKUSEI City

■概要／人口：**100,658人**

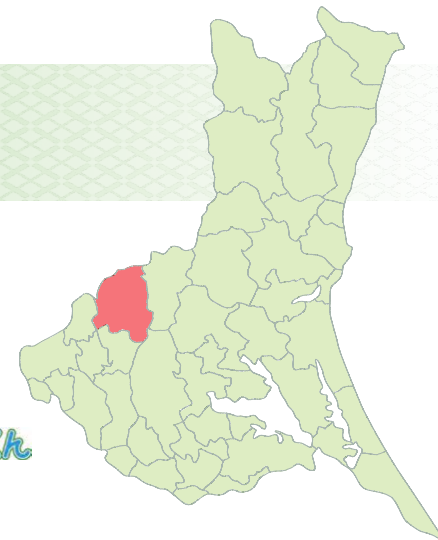
年間観光入込客数：**1,507,700人**

■由来／下館市・関城町・明野町・協和町の合併に伴い、新市名称の公募を実施し、協議会での投票で「筑西市」に決定しました。「筑西」は、筑波山の西側に位置することに由来します。

■市の花／梨の花(春の花)、コスモス(秋の花)  
木／さくら  
鳥／つばめ



ちっくん



茨城県の南西部に位置し、北は栃木県と接しています。鬼怒川・小貝川・勤行川が南北に流れる肥沃な田園地帯が広がり、稲作のほかに、梨、こだますいか、トマト、いちご、常陸秋そばなどの栽培も盛んです。また、JR東日本、真岡鐵道、関東鉄道の3鐵道が走る交通の要衝として栄え、下館駅周辺には日本近代陶芸の祖である板谷波山の生家や蔵造りの商家など数々の史跡や歴史が残されています。

## 観光カレンダー

|             |                |
|-------------|----------------|
| 2月14日前後     | ダイヤモンド筑波       |
| 7月下旬        | 下館祇園まつり        |
| 8月下旬～9月上旬   | あけのひまわりフェスティバル |
| 8月下旬または9月上旬 | どうすこいペア        |
| 10月28日前後    | ダイヤモンド筑波       |
| 12月上旬       | 小栗判官まつり        |

## 道の駅グランテラス筑西

2019年7月、茨城県内14か所目の道の駅としてオープン。北関東最大級の広さを誇り、複合型「ハイブリッド道の駅」として3世代で楽しめる施設。BBQ施設やドッグラン、カフェにグルメに直売所のほかキッズスペースなども充実しています。また、屋外ステージや芝生広場では様々なイベントを実施。開放的なスペースで筑波山を望みながらみんなが楽しめる道の駅です。



スポット

北関東最大級の道の駅

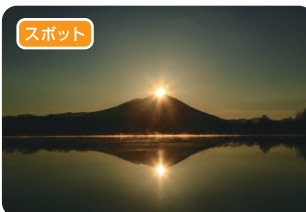
## 板谷波山記念館



スポット

日本近代陶芸の祖である板谷波山の足跡を伝える記念館。東京都田端の工房で実際に使われていた窯やロクろ台、様々な道具など貴重な展示品を見ることができます。

## 母子島遊水地



スポット

「筑波山ベストビューポイント」に選定された人気のスポット。2月中旬と10月下旬の年2回、筑波山山頂から太陽が昇る「ダイヤモンド筑波」を見ることができ、多くの写真愛好家が集まります。

## 下館祇園まつり

羽黒神社と下館駅を中心に、4日間に渡って行われる茨城県内屈指の夏祭りです。120年もの歴史を持つ明治神輿、相殿神・玉依姫の女子神輿、毎年担ぎ出される神輿としては日本最大級の重量を誇る平成神輿の他、30数基の子供神輿の渡御が行われます。最終日の早朝には、明治神輿を川に担ぎ入れる「川渡御」の勇壮な光景も楽しめます。



イベント

熱気溢れる筑西の夏

## どうすこいペア



イベント

大相撲力士を間近で見ることができる貴重なイベント。会場にはたくさんのお店がならび、朝から晩まで様々な催しが行われます。オリジナル梨カレー・ちゃんこ等の販売もあります。

## あけのひまわりフェスティバル



イベント

名峰・筑波山をバックに「東北八重ひまわり」約100万本が咲き誇ります。この品種は種の部分まで花びらで覆われた珍しいもので、ゴッホの「ひまわり」を彷彿とさせます。

## 長塚節の生家



スポット

長塚節は、正岡子規の門下生アララギ派の代表歌人で、農民文学の不朽の名作小説「土」の作者です。生家は、茨城県の史跡に指定されており、書院のみ見学ができます。

## 常総きぬ川花火大会



イベント

常総市の夏の風物詩として市民から長年親しまれてきました。平成20年から名称を現在の「常総きぬ川花火大会」と改称し開催しています。1万発の花火は圧巻です。

## 常総千姫まつり

常総市の心意気をまつりという手段で広く県内外にアピールし、地域の活性化を目的に始まりました。千姫のお墓が常総市の弘経寺にあることから、水海道千姫まつりと同日に弘経寺では天樹祭を開催。観光大使千姫さまが墓参りに訪れます。時代衣装に身を包んだ女性主体の一行がまつり会場内を回遊します。



イベント

千姫さまの生誕を祝うお祭り

## 地酒

日本酒の蔵元が3軒あります。山中酒造店は、創業200余年。酒銘「一人娘」は、大切な一人娘を育てるように真心を込めて作り上げた清酒。野村醸造は、明治30年創業。味ののった濃厚な味わいが特徴の「純美人」は、無添加で米の持つ旨みを最大限に引き出した逸品。竹村酒造は、清酒「京の夢」「富士龍」「瑠璃」を醸造・販売し、260年の歴史があります。



お土産

常総市の日本酒

## せんべい

煎餅店も数多くあり、桜井煎餅店は、天日乾燥した生地を丹念に焼き上げており、しょう油の香ばしさがたまらないシンプルなお品。本橋煎餅は、せんべい一筋80年。米の仕入れから製粉、生地づくり、焼き上げまで一貫して行い、店先で一枚一枚丁寧に炭火で焼き上げてます。お店によって味が違うので、それぞれの味が楽しめます。



お土産

それぞれのお店の味が楽しめる

## 小栗判官まつり



イベント

中世の「小栗判官伝説」を再現する平成元年に始まった祭り。華麗な戦国絵巻を思わせる武者行列で、馬にまたがった小栗判官が総勢約200名の武者を引き連れ新治駅前を練り歩きます。

## 下館ラーメン



グルメ

市内にある十数軒で味わうことができます。特徴としては、鶏ガラと地場産の野菜でとったスープに濃口醤油のかえしを合わせ、具材に鶏チャーシューを加え、中細ちぢれの少加水麺を使用しています。

## モロ



グルメ

「モロ」とはこの地域で昔から親しまれているモウカザメの料理です。高タンパク低脂肪で骨がないことから様々な料理に活用されています。おすすめはモロフライ。市内飲食店で提供しているのでは是非ご賞味ください。

## 鳩杖最中



お土産

下館地区菓子組合が、ふるさとの銘菓を作ろうと共同で手掛けたもの。波山が贈り続けた鳩杖の握り手、鳩の形をかたどったお菓子が、市内9軒の菓子店で購入可能です。



# 坂東市

BANDO City

■概要／人口：**51,879人**

年間観光入込客数：**696,100人**

■由来／新市名称を公募したところ、新市名称候補10点の中から「坂東市」と命名。市に沿って流れる利根川の愛称・坂東太郎に由来します。

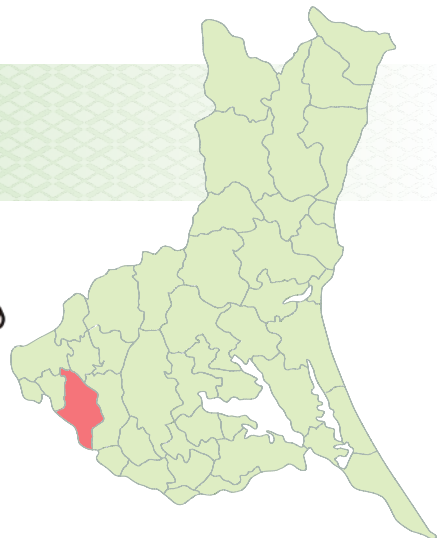
■市の花／チャノハナ

木／ケヤキ

鳥／ウグイス



将門くん



茨城県の南西部に位置し、総面積は県土の約2.0%を占めており、区域は東西約12kmで、市全域が首都圏近郊整備地帯に指定されています。自然環境は、南西に利根川、南側に飯沼川、東側に西仁連川などの河川が流れているとともに、南端には、菅生沼があり、野鳥や昆虫などが生息する貴重な水辺が残されています。また、ねぎやレタス、トマト、白菜などが特産品としてあげられます。江戸時代初期から栽培が始まった「さしま茶」は香り豊かなコクのある銘茶として全国に知られています。

## 観光カレンダー

|                |             |
|----------------|-------------|
| 4月上旬           | ふる里さしま古城まつり |
| 7月第4金・土曜日      | 岩井の夏まつり     |
| 8月第1土曜日        | さしまの夏まつり    |
| 11月第2日曜日       | 岩井将門まつり     |
| 5・9・10・3月第4土曜日 | はんどうホコテン    |

## 観光交流センター「秀緑」

坂東市に体験工房オープン

旧酒造の大塚酒造を改修し、平成28年11月にグランドオープンしました。施設内には、ガラス・工芸・木工の工房があり、製作体験をしながら学ぶことができます。本蔵・母屋が国の文化財に指定されています。

スポット



## ミュージアムパーク 茨城県自然博物館

動く恐竜リニューアルオープン!

生命の誕生から地元茨城の環境、宇宙の進化まで、自然の成り立ちが分かりやすく体験できる見どころ満載の博物館。隕石や恐竜化石などの実験標本や、ジオラマを映像によりわかりやすく展示しています。平成29年3月18日には、動く恐竜がリニューアルされ、最新の情報を盛り込んだ新しい展示を楽しめます。野外施設にも自然が多く、体験しながら自然との共生を学べる施設です。

スポット



## 平将門

平将門ゆかりの地のひとひ

今から1100年前、坂東は未開の地でした。その荒地に農民たちと取り組んだのが平将門公であったと伝えられています。延命院には、胴塚があり、顕彰碑と東京大手町の首塚より送られた石塔婆が建てられています。

スポット



## 菅生沼

コハクチョウが飛来する姿は圧巻

県内最大級の自然環境保護区域に指定されている沼。冬季には約300羽のコハクチョウが飛来し、冬を越すために過ごします。

スポット



## 逆井城跡公園

スポット



逆井城は今から400年以上前の戦国時代末期に後北条氏の関東進出拠点として築城されました。現在もその外堀と土塁が残り、櫓門、橋、堀、主殿、二層櫓は復元され公園になっています。

## 坂東市岩井将門まつり

イベント



将門まつりは、郷土の英雄「平将門公」の勇姿をよみがえらせようと、昭和47年に始まりました。國王神社の杉並木を、総勢100名の武者が神田明神将門太鼓の勇壮な響きのなか進みます。

## 坂東市ふる里さしま古城まつり

イベント



猿島ばやし(県指定無形民俗文化財)などの郷土芸能の演奏、伝承に基づいた「出陣式」や迫力満点の「火縄銃演武」など、様々な催しが逆井城跡公園にて行われます。

## さしま茶

グルメ



江戸時代初期から猿島郡にて栽培がはまりました。安政6年(1859年)には海外に初めて輸出され、生糸と並んで重要な輸出品目に数えられました。今では全国的に知られる香り豊かなコクのある銘茶です。

# 桜川市

SAKURAGAWA City

■概要／人口：**39,611人**

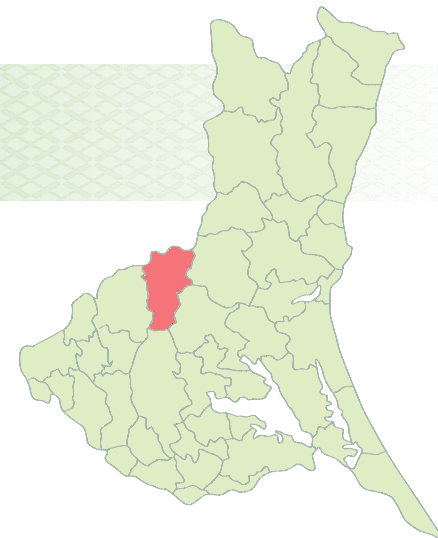
年間観光動員数：**341,900人**

■由来／平成17年に、旧岩瀬町・真壁町・大和村の3町村が合併して誕生した桜川市。3町村の中央を流れ霞ヶ浦へ注ぐ「桜川」が、旧岩瀬町を源流として旧大和村から旧真壁町へと南下していたことに由来。

■市の花／ヤマユリ

木／サクラ

鳥／ウグイス



真壁・大和地区を南北に連なる筑波、足尾、加波山の山塊と、北に栃木県との境を接する高峯、雨巻、富谷山を背景に、山の景色と里山の光景が織りなす自然があふれる地勢が魅力となっています。地域で採出されるみかげ石を利用した石材業も発展。古くから山岳信仰の対象となった山々があり、行基を開基とした富谷観音、マダラ鬼神祭が行われる雨引山楽法寺、禅定の山・加波山神社、椎尾山の中腹にある薬王院など、国などの重要文化財に指定されている建造物も多く残されています。

## 観光カレンダー

|             |          |
|-------------|----------|
| 2月4日～3月3日   | 真壁のひなまつり |
| 3月上旬～4月下旬   | 桜川の桜まつり  |
| 6月上旬        | 大和の石まつり  |
| 6月10日～7月20日 | あじさい祭    |
| 7月23日～26日   | 真壁祇園祭    |

## 「桜川」のサクラ

山桜が国の天然記念物に指定

世阿弥の謡曲「桜川」の舞台にもなった地。11種類の山桜が固有種となっています。その一部が名勝指定区域になっている磯部桜川公園では、約700本の山桜やソメイヨシノが見られます。参道が名勝指定区域の櫻川磯部稲村神社では、地元のボランティアによる桜の案内が行われています。また、この神社には紀貫之の詠んだ歌碑があります。

スポット



## 雨引観音

安産子育ての霊場として広く知られる

厄除延命安産子育ての霊験あらたかな延命観世音菩薩(国指定重要文化財)を本尊佛として祀っています。坂東観音霊場第二十四番札所の名刹として知られます。「一に安産、二に子育て、三に桜の楽法寺」といわれるように、境内や雨引山周辺の山桜は見事です。河津桜という品種もあり、3月上旬頃から桜を楽しむことができます。また、参道には約3,000株のアジサイがあり、6月から7月にかけてあじさい祭りが開催されます。

スポット



## 真壁の町並み

スポット



真壁の町割り、は、戦国時代末期の真壁氏時代に形作られ、江戸時代初期の浅野氏時代に完成したといわれています。現在も約三百数十棟の見世蔵や土蔵・門などの歴史的建造物がその町割りとともに息づいています。

## 高峯の山桜

スポット



市内の里山には約55万本の山桜が自生しており、特に北部の高峯は屈指の群生地として注目を集めています。野生の桜は一本一本遺伝子が違うため、花の色や形、新芽の色、咲く時期が異なります。こうした多様な山桜の花や新芽の色が、落葉広葉樹の新緑とともに作り出す美しい景観が、桜川市の春を彩ります。

## 真壁石

スポット



関東の名山、筑波・加波・足尾の三山は良質な花崗岩を産出し、そのふもとにある真壁地区や大和地区の一帯は昔から石材の産地として知られてきました。その良質な花崗岩が真壁石です。

## 地酒

お土産



良質な水と米を使い、各酒蔵がそれぞれこだわりを持って酒造りを行っています。どの蔵でも試飲が可能で、飲み比べをすることもできるのが嬉しいポイント。小売店も多いのも特徴です。

## 真壁のひなまつり

真壁の町並みとひな祭り

「寒い中、真壁に来てくれる人をもてなそう」という住民の声から始まった真壁のひなまつり。開催当時にひな人形を飾っていたのは21軒でしたが、現在は160軒ほどの民家や商家がお雛様を飾ります。見世蔵、土蔵、門などが軒を連ねる真壁の町並みと、その歴史ある建物の中に代々伝わるお雛様が飾られる風景は懐かしいぬくもりに溢れています。

イベント



## こだますいか

グルメ



桜川市は、冬から春先にかけて豊富な日照量をいかした「こだますいか」の産地です。県銘柄産地に指定されている「こだますいか」は、甘くて美味しいと高い評価を受けています。

## 酒寄みかん

グルメ



桜川市は、温州みかんの北限地。霜が降りることが少ないといわれる温暖な筑波山の斜面を利用して、10月下旬から12月に酒寄地区でみかん園がオープンします。コクのある甘酸っぱい味をお楽しみください。



# 八千代町

YACHIYO Town

■概要／人口：**22,081人**

年間観光入込客数：**63,300人**

■由来／昭和30年に西豊田村、中結城村、安静村、下結城村、川西村が合併し八千代村が発足。このとき5村と三和村成田が合併して八千代村が誕生。昭和47年町制施行。千代に八千代に栄えるという意味で名づけられました。

■町の花／菊

木／けやき  
鳥／ひばり



八菜丸(はなまる)



## 観光カレンダー

|             |          |
|-------------|----------|
| 4月上旬        | 桜まつり     |
| 7月下旬        | 八千代町夏まつり |
| 10月下旬～11月下旬 | 八千代町菊花展  |
| 11月下旬       | 八千代の秋まつり |
| 11月下旬       | お化粧の式    |

## 八千代グリーンビレッジ

大自然を満喫できる施設

八千代グリーンビレッジは、自然林を活かした約8haの敷地を持つ農村公園で、公園内には天然温泉「やちよ乃湯」、農産物直売所、レストランが併設された「憩遊館」や、宿泊コテージや常設のバーベキュー場を擁するキャンプ場、芝と林間2種類のコースを持つグラウンドゴルフ場があります。特に天然温泉「やちよ乃湯」は、神経痛、切り傷、やけど、慢性婦人病などに効果があると、大変評判が良い温泉です。



スポット

## 鹿嶋神社



鹿嶋神社の創建は大同元年(806)、藤原音磨が鹿島神宮の分霊を勧請したのが始まりと伝えられています。建物全体に精巧な彫刻が施され、当時の神社建築のすばらしさを見ることができます。町指定有形文化財。

スポット

## 尾崎前山遺跡製鉄炉跡地



製鉄炉等が発見された台地南斜面の部分292㎡の範囲が指定され、現地には、古代の製鉄炉が復元されています。町指定史跡。

スポット

## 旬菜やちよ

地元で採れた新鮮野菜が並ぶ

地元で採れた新鮮野菜、果物、米、卵、加工品などが並んでいます。メロン・すいか・梨祭り、そして米祭りなどを開催して地元農産物をPRして、消費拡大をしています。



スポット

## 新長谷寺(八町観音)



貞永元年(1232)に結城朝光によって創建されたといわれています。観音堂に安置される木造十一面観音立像は、茨城県の有形文化財に指定されています。

スポット

## 佛性寺



栗山の古堂と呼ばれる地にあったものが、江戸時代に現在地に移建されたと伝えられています。観音堂に安置される木乾漆如来形坐像は茨城県の有形文化財に指定されています。

スポット

## 八千代町夏まつり



町内各所から集まる山車と神輿の警演をはじめ、ソーラン踊り、ひょっとこ、フラダンス、阿波踊り、八千代おどりなど、全世代の町民が一つになってまつりを盛り上げます。

## お化粧の式



野爪地区鹿嶋神社の大久保宮司一族のみによる、大拍子先頭で、たいまつでの明かりの中の神輿渡御の祭事です。

イベント

## 白菜キムチ鍋プロジェクト



「八千代の白菜キムチ鍋」の条件は、地元八千代町産の白菜と茨城県産の豚肉をたっぷり使用すること。現在町内16店舗の協賛店で白菜キムチ鍋を提供しています。

グルメ

## 八千代の白菜メンチカツ



白菜をたっぷり使用したメンチカツを開発し、現在、町内精肉店2店舗にて商品化されています。特徴としては、白菜をたっぷり使用することによる、ジューシーでありながら、さっぱりとした口当たり。

グルメ

# 五霞町

GOKA Town

■概要／人口：**8,512人**

年間観光入込客数：**778,400人**

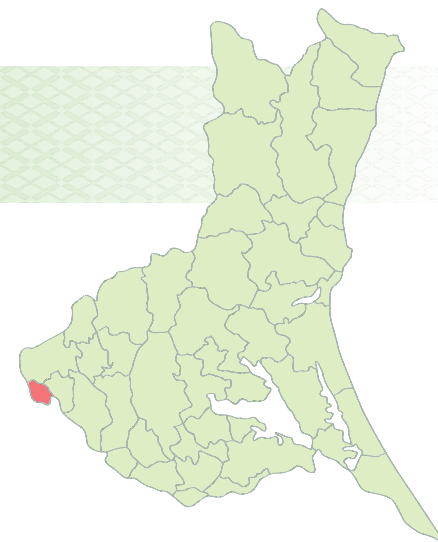
■由来／江戸時代に5つの集落があり、5カ所の村と呼ばれたことから五霞となったのが町名の由来といわれています。また、5本の川が流れており、霞が出たことに由来するともいわれています。

■町の花／ばら

木／梅  
鳥／ひばり



ごかりん



## 観光カレンダー

|           |                 |
|-----------|-----------------|
| 3月下旬～4月上旬 | 桜(茨城県ヘルスロード)    |
| 4月上旬～中旬   | 道の駅ごかりん周年記念イベント |
| 6月～7月     | ハクレンのジャンプ       |
| 11月上旬     | 五霞ふれあい祭り        |

## 道の駅ごかりん

街の賑わいマルシェ

「西の玄関口」新鮮な野菜が並ぶ直売所や郷土料理が味わえるレストラン、物産品コーナーなど地域色満点の道の駅です。特産の八つ頭を使用した「八つ頭コロッケ」や茨城県銘柄豚を100%使用した肉まん「ローズポークまん」がおすすめです。



スポット

## 工場見学

楽しくなる人気の工場

キュービー(株)五霞工場/マヨネーズのヒミツについての説明、マヨネーズ・ドレッシングの製造ラインや割卵の工程を案内してくれます。

(株)ヤクルト本社 茨城工場/小さなお子さまから大人の方までヤクルトのおいしさや体にいい秘密、ヤクルトの歴史などを工場見学をとおして楽しみながら学べます。



スポット

## ハクレンのジャンプ

水面に輝く夏の風物詩

ハクレンは中国原産のコイ科の淡水魚で、ハクレンの仲間にはソウギョ・アオウオ・コクレンがいます。この4種の魚は、いずれも体長が1mほどになり、毎年産卵期の6月～7月頃に見られる、巨大な魚体が何十何百と競うように飛び跳ねる様子は圧巻です。日本でハクレンの自然繁殖が確認できるのは唯一、利根川だけといわれています。



スポット

## 中の島公園



昭和初期の江戸川改修に伴い、江戸川と利根川の分岐点につくられたこの公園内には、樹齢およそ100年の古木や、治水工事に関する歴史遺産が設置されています。

スポット

## 穴薬師古墳



直径30m、高さ40mの小高い円墳で、中央部両側に長さ1.5m、0.3m角の門石で前室と奥室と区分されている横穴式石室です。茨城県指定文化財に指定されています。

スポット

## 東昌寺 山門・梵鐘



15世紀中頃に閑宿城を築いたという築田氏の菩提寺。梵鐘(茨城県指定文化財)は、元享年間(1321年頃)に下野国の鋳物師・大工甲斐権守太郎助光が制作したものとされています。

スポット

## 五霞ふれあい祭り



「食」をテーマに五霞町食材を使った料理など多くの「飲食・物販品の提供・販売」お子様から大人まで「楽しく学べる参加型体験プログラム」祭りに華を添える「観て楽しいステージなどでのショー」など住民相互のふれあい・地域活性化を目的として、毎年秋に開催しているイベントです。

イベント

## ローズポークまん



道の駅ごかりんオリジナル肉まん「ローズポークまん」は、全国銘柄食肉コンテストにおいて最優秀賞を受賞した茨城県銘柄豚ローズポークを100%使用。旨みたっぷりでジューシーな肉まんです。

グルメ

## 川霞



五霞町特有の川に囲まれた緑豊かな大地で丹精込めて育てられた常陸秋そばを十割使用し、原料の特徴をバランスよく生かすため、減圧で単式蒸留した逸品です。さらりとした飲み口が特徴です。

お土産



# 境 町

SAKAI Town

■概要／人口:24,123人

年間観光入込客数:679,800人

■由来／江戸時代に誕生。境界線を意味する境を町名に使用。

■町の花／カンナ  
木／もくせい



サカイタチ



五霞町、千葉県野田市と利根川を挟んで相対し、水と緑の豊かな田園都市の景観を誇っています。雄大な利根川沿いには堤防を利用した利根渡良瀬サイクリングコースが設けられ、サイクリングやジョギング、ウォーキングなどを楽しむことができます。境河岸から見る富士山は、国土交通省の「関東の富士見百景」にも選定されています。町内には縄文時代などの古墳や貝塚などの古代の遺跡も多く残されており、歴史民俗資料館では、町の歴史や風習などを知ることができます。

## 観光カレンダー

|      |              |
|------|--------------|
| 1月上旬 | 境達磨市         |
| 4月中旬 | さかい河岸フェスティバル |
| 7月中旬 | 利根川大花火大会     |
| 7月下旬 | 歩行者天国祭り      |
| 8月   | 利根川いかだレース選手権 |

## 利根川大花火大会



打上数約23,000発と関東最大級の花火大会です。4大花火師による尺玉やスターメイン、音楽花火は感動的です。

## 観光情報発信施設



町と株式会社坂東太郎の連携により「8代葵カフェハイ境店」が来店。店内には地場産品の直売所や移住定住情報などを提供する町の魅力PRブースも備えてあります。

## S-start up



チャレンジキッチン2店舗、シェアオフィス2部屋を備えた、境町創業支援センター「S-start up」。創業第1号店は、鶏そば「山田屋」。

## 沖縄県国頭村公設市場



「道の駅さかい」が友好交流協定を締結している沖縄県国頭村「道の駅ゆい国頭」のアンテナショップ「沖縄県国頭村公設市場」がオープン。

## モンテネグロ会館



隈研吾氏が設計した本館は、1937年にアルゼンチンのモンテネグロ臨時大使の援助により建設。2019年に建替えをし、チャレンジショップなどで活用している。

## S-gallery



境町にゆかりのある日本画家「齋藤宝(しゅくさんぼう)」の作品などを常設展示する美術館。設計は隈研吾建築都市設計事務所。

## 河岸の駅さかい



建物は明治時代から続く老舗和菓子店の旧店舗をリノベーション。1階にはさかい河岸ベーカリーとテストキッチン。2階にはシェアオフィスがあります。

## セグウェイ



日本でも珍しいオフロードタイプの電動立ち乗り二輪車「セグウェイ」でめぐるオフロードツアー。のんびりと自然豊かな景色を眺めながら河川敷をドライブしましょう。

## 富士見百景



利根川河川敷にある境河岸は、「富士山と城と川」を撮影できる場所として、関東の富士見百景の一つとして指定を受けた絶好の撮影ポイントです。

## さかいキッチン(茶蔵)



地元農家さんの新鮮野菜を使い、旬を味あえるビュッフェスタイルレストラン。陽の差し込む温かみのある店内で、お食事をお楽しみください。

## さかいサンド



境町産の小麦粉「ゆめかおり」や地元産野菜等を使用し、境町の美味しいものを丸ごとサンドしました。具たくさんボリューム満点サンドは毎朝手づくり。なくなり次第終了なのでお早め！

## SAKAITEPPAN by Wolfgang Zwiener



北関東初！ウルフギヤングが境町に新店！地元で採れた新鮮野菜はもちろん、厳選された食材を贅沢に使用。一口食べれば思わず笑みが溢れるような、鮮烈なメニューをご用意しています。

# 県西地域周遊コース

県西地域  
周遊  
モデルコース  
GUIDE

1 ミュージアムパーク  
茨城県自然博物館  
＜坂東市＞



2 古河の七福カレーめん  
＜古河市＞



3 鷹見泉石記念館  
＜古河市＞



Guide  
book

4 つむぎの館  
＜結城市＞



## 茨城県の豆知識⑤

## 『茨城の地酒』



茨城には個性ある地酒が豊富にあり、関東地方で最も多い42の酒蔵があります。茨城の酒造用水は、5つの水系に分類できます。八溝山麓を源に日立市で太平洋に注ぐ久慈川水系、那須岳を源にひたちなか市と大洗町の間で太平洋に注ぐ那珂川水系。筑波山を中心として笠間・岩瀬盆地以南の筑波山水系。県南部の利根川水系。さらに、利根川の支流ながら、県西の酒造り地域をめぐる鬼怒川水系の5つです。

独立行政法人酒類総合研究所と日本酒造組合中央会の共催による「令和元酒造年度(令和2年度)全国新酒鑑評会」において、茨城県では右表のとおり15酒造場が、入賞酒に選ばれました。

※金賞酒は決審中止に伴い未選定

| 酒造場名     | 銘 柄  | 市町村名  |
|----------|------|-------|
| (資)浦里酒造店 | 霧筑波  | つくば市  |
| 野村醸造(株)  | 純美人  | 常総市   |
| 稲葉酒造     | すてら  | つくば市  |
| 来福酒造(株)  | 来福   | 筑西市   |
| (株)田中酒造店 | 君萬代  | 取手市   |
| 結城酒造(株)  | 結ゆい  | 結城市   |
| 磯蔵酒造(有)  | 稲里   | 笠間市   |
| 吉久保酒造(株) | 一品   | 水戸市   |
| 明利酒類(株)  | 副將軍  | 水戸市   |
| 木内酒造(資)  | 菊盛   | 那珂市   |
| 岡部(名)    | 松盛   | 常陸太田市 |
| 府中堂(株)   | 渡舟   | 石岡市   |
| 石岡酒造(株)  | 筑波   | 石岡市   |
| (資)椎名酒造店 | 富久心  | 日立市   |
| 森島酒造(株)  | 富士大観 | 日立市   |

(※令和2年5月現在)